100th Anniversary

電子情報通信学会

創立100周年記念事業
東海支部講演会

日時 2017年9月26日（火）15:00～17:30

場所 名古屋大学 東山キャンパス 経済学部カンファレンスホール

講師

葛西 敬之　東海旅客鉄道株式会社 代表取締役名誉会長

【 講演内容 】

東海道新幹線とJR東海の戦略（仮）

- 東海道新幹線開業53年、国鉄分割民営化30年
- JR東海創業の使命　～東海道新幹線＝日本の大動脈～
- JR東海発足後の戦略設定（民営化後の飛躍）
- 東海道新幹線の外部経済効果（品川駅、名古屋駅周辺）
- 新幹線運輸収入と輸送量の推移
- 長期債務残高と支払利息の推移
- 超電導リニアによる東海道新幹線バイパス（中央新幹線）
- 中央新幹線の経営権明確化とリニア技術開発
- 中央新幹線の経済社会への幅広い波及効果
- 超電導リニアの米国への展開（北東回廊）

【 プロフィール 】

昭和38年3月	東京大学法学部卒業
昭和44年6月	米国ウィスコンシン大学経済学修士号取得
昭和38年4月	日本国有鉄道入社
昭和61年2月	同上　職員局次長
昭和62年4月	東海旅客鉄道株式会社発足、同社取締役
平成7年6月	同上　代表取締役社長
平成16年6月	同上　代表取締役会長
平成26年4月	同上　代表取締役名誉会長（現職）
平成24年7月～	宇宙政策委員会委員長
平成24年10月～	財政制度等審議会財政制度分科会臨時委員
平成28年4月～	学校法人海陽学園理事長

天野　浩　名古屋大学未来材料・システム研究所 未来エレクトロニクス集積研究センター センター長・教授（2014年ノーベル物理学賞受賞）

【 講演内容 】

Transformative Electronicsが築く未来社会

GaNを用いたLED照明器具は、2025年までに77.1%を占め、日本の消費電力の約7%程度の省エネ効果が試算されている。この材料がパワーデバイスとしても注目され始めた。
現存のSiパワーデバイスを全てGaNに置き換えたら、更に9.8%程度省電力化出来る。
本講演ではGaN系パワーデバイスがどのように生まれ発展してきたか、及びGaNパワーデバイスの社会実装を加速するために最近設立されたGaN研究コンソーシアムについて紹介する。

【 プロフィール 】

1960年静岡県生まれ。1983年名古屋大学工学部卒業、
1988年名古屋大学大学院工学研究科博士課程後期単位修得退学、1988年名古屋大学工学部助手、
1992年から名城大学理工学部講師、助教授、教授を経て、2010年名古屋大学大学院工学研究科教授、
2015年10月から現職。2011年より名古屋大学赤﨑記念研究センター長を兼任。
2014年文化功労者顕彰、文化勲章受章。また、赤﨑勇名城大学終身教授・名古屋大学特別教授、
中村修二カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授と共に「高輝度、省エネルギーの白色光源を可能とした高効率青色発光ダイオードの発明」にて2014年ノーベル物理学賞を受賞した。
現在は名古屋大学において高効率パワー半導体など新たな省エネルギー及び創エネルギーデバイスの創成に向けた技術開発を進めている。

お申込み

WEBサイトよりお申込みください。【 定員470名 】

http://www.ieice.org/tokai/100kouen/

アクセス　名古屋市営地下鉄名城線「名古屋大学」駅1番出口からすぐ

共催 / 名古屋大学大学院工学研究科　　お問い合わせ / 電話：052-262-4947　メール：shibu@tokai.ieice.org